

内閣総理大臣 安倍晋三殿  
外務大臣 町村信孝殿  
環境大臣 鴨下一郎殿  
法務大臣 鳩山邦夫殿

## 市民に開かれたG8サミットの開催を求めます

2007年8月  
2008年G8サミットNGOフォーラム

来年7月に北海道・洞爺湖での首脳サミットを柱とする一連のG8閣僚会議が日本で開催されます。私たち「2008年G8サミットNGOフォーラム」は、貧困・開発、環境、人権・平和などのさまざまなテーマで市民の声をG8会合に届けるために活動を開始しました。いずれのテーマも、国境を越えた地球規模の課題であり、これらの政策を議論するプロセスは地球規模の市民社会に開かれたものであることが不可欠です。開催にあたり、事前準備の段階から、政府による情報公開と意思決定のプロセスの透明性が保証されてこそ、市民と政府の対話が可能になります。このような観点から、ホスト国としての一連のG8会合の開催のあり方について、以下の通り提言いたします。

### (1) 一連のG8プロセスを、市民に開かれたものとする

- ⓧ サミットおよび関連閣僚会議にNGOの傍聴と意見表明の機会をご検討ください。
- ⓧ 事前プロセスとして、シェルパおよび関連部局とNGOの定期会合を開催することを求めます。また、政府はその会合での協議結果をG8サミットの合意文書案に反映させてください。
- ⓧ これら事前プロセスを通じて、サミットおよび関連閣僚会議の資料や草案等は、可能な限り早期にNGOおよびメディアに公開することを求めます。
- ⓧ これらNGOへの公開プロセスは、日本のNGOに限らず、開発途上国を含む世界のNGOと市民社会に対して開かれたものにするを求めます。
- ⓧ 政府主催のサミット関連会議（例えばシェルパ会合など）にNGOが参加し、意見表明する機会を与えてください。
- ⓧ サミット開催期間中、メディアセンターへ、希望するすべてのNGOのアクセスを求めます。

### (2) 一連のG8会合開催は、人権および環境に配慮した形で行うこと

- ⓧ 警備やテロ対策などの名目で、会場に近い都市、空港等において人権侵害につながるような過剰警備があってはなりません。とりわけ、外国人やホームレス（野宿者）への不当な取り締まりを行わないよう求めます。
- ⓧ 会議の機会に合わせ各地で開催される、市民団体によるさまざまな非暴力の表現活動やパフォーマンス、デモやパレードの行進などが自由に行えるよう求めます。
- ⓧ 会議に参加しようとする海外のNGOや市民団体に対して、ビザの発給を速やかにおこない、万が一にも入国を拒否するようなことがないように求めます。
- ⓧ 国際会議の開催は、参加のための渡航、会議期間中の運営など、膨大な二酸化炭素の排出を伴うほか、会場周辺の自然環境に大きな影響を与えます。近年の海外の国際会議では、会議の開催による二酸化炭素や廃棄物の排出をできるだけ抑え、会議開催に伴う環境破壊のない、環境配慮型会議の在り方が模索されています。今回のサミット開催に際しても、環境に配慮した会議運営がなされることを求めます。

### (3) 洞爺湖首脳サミットをはじめとする一連の閣僚会議の開催にあたり、先住民族を含む地元市民へ開かれたプロセスをとること

- ⓧ サミットおよび関連閣僚会議の開催にあたり、地元の市民社会への十分な説明と事前協議を求めます。
- ⓧ 洞爺湖畔でのサミット開催にあたっては、とりわけ、北海道の先住民族の人々への十分な説明と事前協議を求めます。